

静岡県議会議員

田口 章

後援会  
だより

お気軽にどうぞ  
昼 053-447-3820  
夜 053-440-7100

平成 23 年 10 月 10 日

創ろう！元気な浜松 & 静岡県

9 月定例会

私の重要テーマ

# 雇用政策と中小企業支援

今年度の静岡県議会の重要テーマは非常に特徴的で明白です。

東日本大震災を受けて、5 月臨時会では「震災対策」、6 月定例会では「新エネルギー対策」、そして 9 月定例会は「雇用対策」が重点政策となっています。

## 雇用創造アクションプラン(平成 25 年度までに 3 万人の雇用を創造)

リーマンショック以降、雇用情勢が悪化していますが、追い討ちをかけるように、超円高や震災が起きました。

8 月の静岡県の有効求人倍率は 0.62 倍と、全国平均の 0.66 倍を下回る状況が続いています。3 月が 0.61 倍でしたので、やっと震災前の水準に戻ったということですが、とりわけ県西部地区は 0.58 倍と厳しい状況が続いています。

ちなみに震災で大きな被害を受けた岩手県は 0.57 倍と引き続き厳しい状況ですが、福島県は 0.64 倍、宮城県は 0.69 倍と復興需要にも支えられ回復が進んでいますので、静岡県の状況がいかに深刻かわかりいただけだと思います。

こうした状況を受け静岡県では、来年 1 月末をメドに「雇用創造アクションプラン」を策定、平成 25 年度までに 3 万人の新規雇用の創造をめざすこととし、9 月定例会に骨子が示されました。

目標の 3 万人は、リーマンショック前の平成 19 年度の県内失業者約 5.5 万人に対し、現在約 8.2 万人が失業していることから、リーマン前の水準をめざそう…という指標設定です。

このプラン、雇用者数を指標にした産業政策と捉えたほうがわかりやすいと思います。

国や県市は、これまでも緊急雇用対策を進めてきましたが、臨時的雇用が多かったことから、安定的な雇用創出には何よりも民間企業が元気にならないといけません。

基幹産業の活性化や成長分野の育成、企業誘致など中心は産業活性化ですが、それに加えて医療や福祉、NPO など県の総力を挙げて雇用促進を進めるということです。

詳細は今後、政労使など多くの関係者を交えて協議していきます。

雇用政策としては、「雇用のミスマッチ解消」が大きなテーマになります。学校教育では就労意識や勤労観を高める教育が進められていますが、これをさらに充実させることとあわせて、若年層が将来に夢を持てる就労環境づくりに取り組むことが大切です。

1 月に出されるプランを“絵に描いた餅”にしないためにも引き続きチェックしていきます。



# 9 月定例会のトピックス

## 搭乗率保証について

川勝知事は9月13日に日本航空から提訴された「運航支援金請求事件」について和解する旨を公表し、今議会に約1億5千万円の補正予算を提案しました。

東京地裁の和解勧告は、「搭乗率70%を保証するという覚書に基づく請求金額1億5295万0604円(+両方の訴訟費用)に対し、1億4980万0627円(+県の訴訟費用)を支払え」というもので、「JAL撤退表明後の310万円余については支払わなくてよい」という内容でした。本会議、常任委員会では、さまざまな議論が交わされましたが、結果的に可決される見込みです(10/14採決)。

私は「空港活性化のためには、こんなゴタゴタは早く切り上げて、JALに“チャーター便”でも飛ばしてもらったほうがよい」と思っていましたので、今回の知事の決断を歓迎します。

良し悪しは別にして、もともと前知事が約束し議会も承認した「搭乗率保証」を、「払わない」としたことは、商慣習的にみて民間企業出身の私には理解できませんでした(いろんな考え方はあるんですが…)。

県民に対する説明や責任の所在を問う声は出るかもしれませんが、まずは前向きに取り組んでいくことが大切ではないでしょうか。

7-8月に富士山静岡空港会社を2度訪問しました。また先月、神戸空港を視察しましたが、そこで感じたことは「空港活性化は“空港の利便性向上”によってしか達成できない」ということです。

現在、空港にぎわい創出事業として「空港ティガーデンシティ構想」が進んでいますが、どんな付加的な魅力を創出したとしても、空港として“本質的な魅力”＝交通ネットワークとしての利便性がなければ、人は訪れないのではないのでしょうか。

空港活性化には航空事業者の協力が不可欠ですので、まずは中途半端な状態に終止符を打ち、前向きに路線確保に取り組むべきです。

富士山静岡空港の是非については、みなさんからいろんなご意見をいただいています。本質的な県民の利便性向上をベースに、投資効果や経済波及効果など、引き続きさまざまな視点から検証していきます。

## 総合特区制度について

「総合特区制度」は税の減免や規制緩和などにより地域の独自性を発揮させようという仕組みで、地域活性化や国際競争力強化のために国が募集しているものです。

この第1次申請が9月末で締め切られました。全国から寄せられた申請は419件あり、プロジェクト名を見ると、日本中の自治体で、知恵を出し、地域の生き残りをかけて取り組んでいる様子が見えます。

静岡県は4件の特区申請をしました。細かく説明しませんが、県が取り組む施策の方向性がお分かりいただけるのではないのでしょうか。

- ふじのくに環駿河湾“陸・海・空”物流活性化総合特区(地域活性化)
- ふじのくに医療健康産業総合特区(国際戦略・地域活性化)
- ふじのくに太陽光発電促進農業総合特区(地域活性化)
- ふじのくに新エネルギー倍増戦略総合特区(地域活性化)

また、浜松市も1件申請しました。その内容はやすとも市長がこれまで主張し続けていたものです。

- 未来創造「新・ものづくり」特区(地域主権型土地利用推進プロジェクト)(地域活性化)

内容は土地の規制緩和に挑む浜松市の挑戦です。私は、県議会の常任委員会の中でこの件に触れ、「静岡県においても浜松市同様の規制改革に取り組むべき。今後、総合特区申請してはどうか?」と質問しました。

地域主権の時代、“地域のことは地域でやる”という気概を持って取り組んでいかねばなりません。財政状況が厳しい中、規制改革はおカネをかけずにできる有効な経済対策のひとつです。知恵を絞って、元気な静岡県を創っていかねばなりません。



【富士山静岡空港】

## ○ひとこと県政情報(「民主党・ふじのくに県議団」所属議員の本会議質問・答弁から)

### ◆浜岡原発について

(牧之原市議会の「永久停止決議」を受けて)県として「宣言すればよい」というものではなく、国のチェックを受けた上で県としても多重チェックを行い、安全性を検証していく。

### ◆津波対策

国が「東海・東南海・南海の3連動地震」の被害想定を来年夏までに出す事から、県としても、“来年度後半のなるべく早い時期”を目的に第4次地震被害想定を策定する。

### ◆来年度予算編成見通し

財政状況は厳しいが、「少子化」、「雇用」、「津波」、「新エネルギー」など必要な施策を進めていくために、補助金のサンセット化や県税徴収強化など、行財政改革大綱に基づき財源を捻出していく。

### ◆CIO(情報統括官)の設置

これまで6億円のIT経費削減など進めているが、CIO補佐官の設置を検討する。「行政経験」があり、県に「愛情」を持ち、「人柄」のよい人材を求めていく。

### ◆新東名の開通に向けて

来年初夏まで(知事は「春爛漫の頃」と言っていました)に開通する県内10のインターチェンジと13のSA・PAを活用し、工場用地開発可能性を調査するなどし、柔軟な土地の利活用を進めたい。ヘリポートなども設置し危機管理にも備える。

「CIO補佐官」は、最初は部長答弁だったのですが、再質問に対し知事から前向きな答弁をいただきました。「津波対策」は非常に高いテーマですので、私も国の「中央防災会議 地震津波対策専門調査会」のサイトで、常に動向をチェックしています。

## ○中小企業支援について(産業委員会での田口の主張ポイント)

10/5-6日、7つの常任委員会が開催されました。「搭乗率保証」や「天竜舟下り」など話題の多かった「企画文化観光委員会」は3日間開催しましたが、私の所属する「産業委員会」など残り6委員会は2日間の開催でした。

浜松市議会の委員会審議は“与えられた議題”しか議論できないのですが、静岡県議会の委員会では“所管事務調査”で議題以外にも幅広い質問ができます。私は今回、下記の項目を中心に県の姿勢を質しました。

### ◆企業立地支援(地震・津波対策)

地震や津波による空洞化対策、あるいは立地支援として新たな制度やインセンティブを考えているか？

### ◆工場用地開発(地震・津波対策)

新東名の開通は県にとって大きなチャンス。スピーディに対応できるよう「県企業局」による工場用地開発に積極的に取り組むべき。(注:「県企業局」の用地開発には許認可制度上の優遇があり早く事業が行えます)

### ◆海外進出支援(円高対策)

軸足を静岡に置くことを前提に、海外進出を考えている中小企業に対して、必要な支援すべき。国内の雇用と産業を守るためにも、やる気のある企業を積極的に支援すべきでは？

### ◆海外情報提供機能の強化(円高対策)

県の持つ機能を活かして、中小企業への情報提供を行うべき。特に東南アジア駐在員事務所を活用すべき。

### ◆海外進出のための融資制度の見直し(円高対策)

現在の融資制度(融資枠5000万円)では運営資金にはなっても設備投資には不十分。新たな制度を講じるべき。

### ◆派遣要員支援(円高対策)

「海外派遣要員の育成支援」についても取り組むべき。また海外支援要員の派遣にあたって、国では「専門家派遣制度」があるが、中小企業にとってはハードルが高い。県でも考えるべき。

県の答弁は「検討する」「研究する」というものが多く、十分な内容とはいえませんが、引き続き現場の声をしっかりと聞き、スピーディにタイムリーな政策を打つよう求めました。



過去の地震の被災状況を調べるため浜松市博物館に行きました。

今、国で地震・津波被害想定の見直しが行われていますが、公表は来年の春以降になる見込みです。未来のことはなかなか予想できませんが、過去の事実は歴史をひもとけばわかります。

江戸時代、入野村に住み、「佐鳴八景」を詠んだ歌人「竹村広蔭」は、著作「変化抄」の中で次のように述べています(原文意訳)。

*嘉永七年寅(安政一年 1854 年)十一月四日朝五ツ半時大地震にて、当村三十二軒皆壊、その余過半大破、本家(竹村家)土蔵一、長屋・小屋皆壊余大破、…(略)*

*当村、即死一人平三郎内、その余怪我人一人もこれ無し、伊場・西鴨江・志都呂一軒も壊家これ無し、前通りの村々これまた左程にはこれ無き候*

*山崎にては家壊れ手足挟まれ悲しみ候に付き、人々寄りて切り出し申し寄候ところへ、「津波打ち来に候」と呼びたて候えば、そのまま打ち捨て逃げ去り候由、挟まれ居候当人はその節の心中思いやられ候、右様の始末所々にこれあり候…*

<以下略>この続きはブログをご覧ください

<http://taguchi-hamamatsu.cocolog-nifty.com/blog/2011/09/918-4896.html>

【日々の活動はブログをご覧ください】

## ★創ろう！元気の浜松 & 静岡県

田口章 で検索

【あとがき】今月号は 10 日発行と遅くなりました。

先週までは議会で頭をフル回転。そして先週末は秋まつりで身体と肝臓をフル回転させました(笑)。今日は心地よい疲れですが、メリハリの利いた気持ちイイ 10 月初旬となりました。

9 月定例会は 10/14 に閉会しますが、月末からは決算審査特別委員会が始まります。私は委員ではありませんが、勉強のためできるだけ傍聴する予定です。なお、正式決定ではありませんが、12 月 8 日(木)13:30 から本会議で初登壇(一般質問)の予定です。それまでの間、じっくり、しっかり政務調査研究を行います。

## 9月の活動報告

- 01(木) アツミテック・ユタカ技研労組定期大会
- 02(金) 浜松市政懇談会(台風 12 号)
- 03(土) スズキ労組研修会
- 04(日) 消防団西区第一方面隊訓練
- 06(火)~08(木)  
会派視察(福井・奈良・神戸・西宮)
- 10(土) 地域福祉フォーラム  
教組意見交換会
- 12(月) 会派総会  
9 月定例会議案勉強会
- 13(火) 西遠浄化センター視察
- 16(金) 浜松市議会傍聴  
スズキ労連定期大会  
浜名湖環境財団 20 周年記念式典
- 17(土) 入野中学校体育大会
- 18(日) 浜松市博物館ヒアリング
- 19(月) 敬老祝賀式
- 21(水) 本会議(台風 15 号)
- 23(金) 佐鳴湖ふれあいまつり  
スズキ労組定期大会
- 24(土) 全たばこ労組定期大会
- 25(日) 入野町道陸地屋台落成式典
- 27(火) 本会議
- 28(水) 本会議
- 29(木) 本会議
- 30(金) 本会議

## 10月の活動予定

- 01(土) 静岡県温水利用研究センター視察
- 02(日) 入野地区子ども会連合会球技大会  
入野地区戦没者慰霊祭
- 03(月) 本会議
- 05(水)~06(木) 産業委員会
- 07(金) 入野中学校評議員会
- 08(土) 入野地区秋まつり(~09)  
連合列島クリーンキャンペーン
- 09(日) 日伯運動会
- 11(火) 自治会長会議
- 13(木) 連合静岡政策打ち合わせ
- 14(金) 本会議(9 月定例会最終日)
- 15(土) 教組意見交換会
- 16(日) 浜松市労福協まつり
- 18(火)~20(木) 産業委員会視察
- 21(金) オプトロニクスフェア  
小楠金属熱処理労組大会
- 22(土) 遠州精工労組大会  
エアフェスタ前夜祭
- 23(日) 入野町民体育大会  
大平台体育祭  
浜松パイプ労組・スニック労組大会
- 24(月)~25(火) 政策調査会
- 26(水)~28(金) 会派・街頭広報キャラバン
- 29(土) WAZA フェスタ  
連合ぐりーんぱる森づくり
- 30(日) スズキ労連加盟 5 労組大会
- 31(月) 決算審査特別委員会傍聴  
教組西区協議会